

丸亀市  
協働のまちづくりに関する  
市民活動団体アンケート報告書

令和5年7月  
丸亀市



# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査目的 .....	1
(2) 調査の実施について .....	1
(3) 留意点 .....	1
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
1 団体について .....	2
問1 団体の種別 .....	2
問2 活動分野 .....	3
問3 活動年数 .....	5
問4 構成人数 .....	6
問5 活動頻度 .....	7
問6 主な活動場所 .....	8
問7 情報発信手段 .....	9
問8 活動する中で困っていること .....	10
2 市との協働について .....	11
問9 あなたは、「協働」という言葉を知っていましたか.....	11
問10 市と協働して事業を行ったことはありますか.....	12
問11 市と協働して良かった点は何ですか.....	13
問12 市と協働して課題に感じた点は何ですか.....	14
問13 市との協働についてどうお考えですか.....	15
問14 協働を必要と思わない理由は何ですか.....	16
3 市以外の団体との協働について .....	17
問15 市以外の団体等と協働で事業を行ったことはありますか.....	17
問16 どのような団体と事業を行いましたか.....	18
問17 他団体と協働して良かった点は何ですか.....	19
4 市の事業について .....	20
問18 ステップアップ補助事業と提案型協働事業について知っていますか.....	20
5 保険加入について .....	21
問19 貴団体は活動に際して、何らかの保険に加入していますか.....	21
問20 市民活動保険制度について知っていますか.....	22
問21 市が市民活動保険制度に加入した場合、どのような影響が考えられますか.....	23
6 市民交流活動センター「マルタス」について.....	24
問22 マルタスを利用したことがありますか.....	24
問23 どのような目的でマルタスを利用しましたか.....	25
問24 マルタスの利用頻度はどれくらいですか.....	26
問25 マルタスに対して今後望む支援は何ですか.....	27
7 自由意見 .....	28
問26 自由意見.....	28
8 総評 .....	30
<b>III アンケート調査票</b> .....	<b>31</b>



# I 調査概要

## (1) 調査目的

「第2次丸亀市協働推進計画（仮称）」（計画期間：令和6年度～10年度）を策定するに当たり、協働の担い手となる市民活動団体の協働に関する現状と認識、課題などを把握し、今後の市の施策や事業を考えるうえでの基礎資料とする。

## (2) 調査の実施について

- (1) 調査対象 マルタスに登録している市内に事務所を有する市民活動団体  
社会福祉協議会が把握している市内のボランティア団体
- (2) 実施期間 令和5年5月10日～令和5年5月31日
- (4) 実施方法 郵送配布・インターネット回答/郵送回収
- (5) 回収結果 配布数…147票、回収数…77票、回収率…52.4%

## (3) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりとなっています。

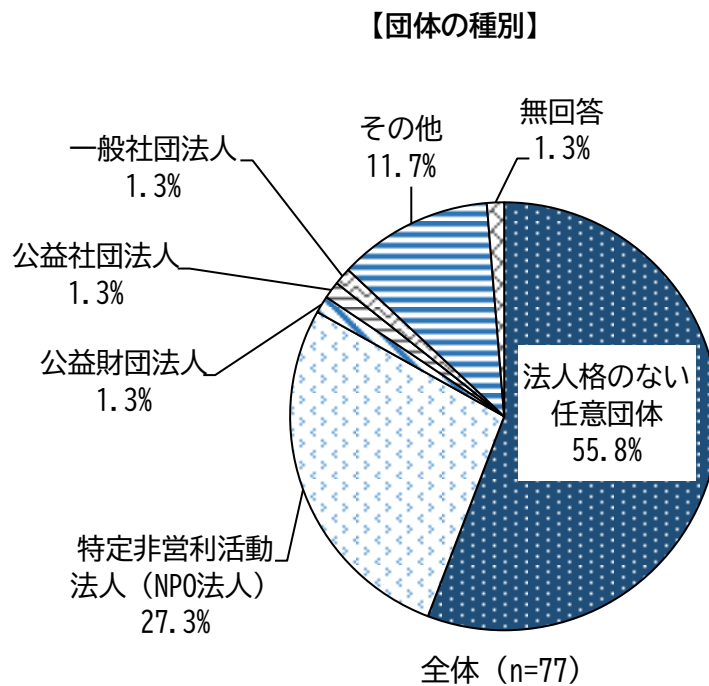
1. 「調査結果」の図表は、原則として、回答者の構成比（百分率%）で表しています。
2. 図表中の「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
3. 本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とされない場合があります。
4. 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。
5. 不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

## Ⅱ 調査結果

### 1 団体について

問1 貴団体は次のどれに当たりますか。(○は1つ)

法人種別は、「法人格のない任意団体」が 55.8%と最も高く、次いで「特定非営利活動法人（NPO法人）」が 27.3%、「公益財団法人」、「公益社団法人」が 1.3%となっています。

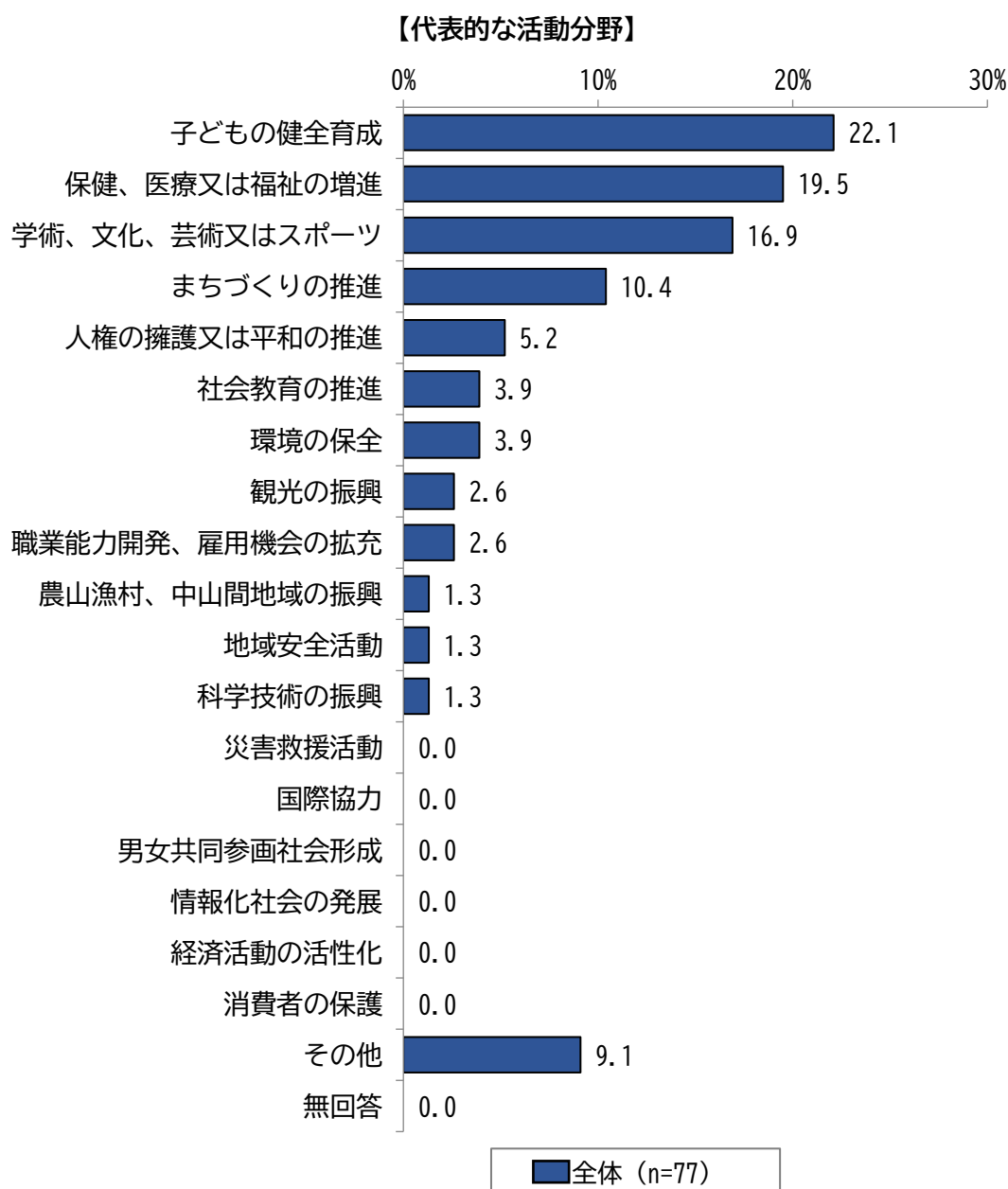


問2 団体の活動分野について該当するものを選択してください。

問2-1 代表的な活動分野（○は1つ）

代表的な活動分野は、「子どもの健全育成」が22.1%と最も高く、次いで「保健、医療又は福祉の増進」が19.5%、「学術、文化、芸術又はスポーツ」が16.9%、「まちづくりの推進」が10.4%と続いています。

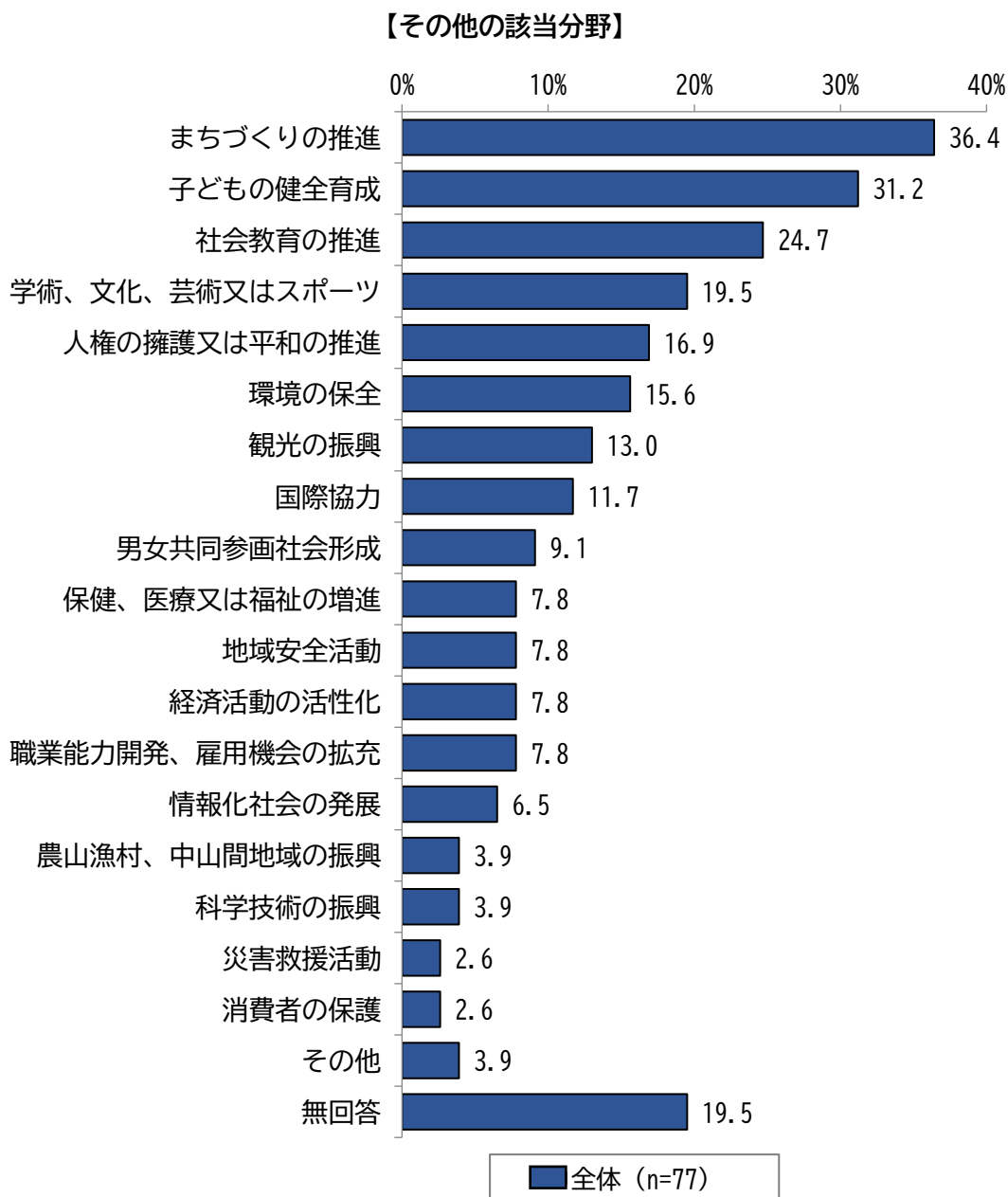
また、「その他」の具体的な内容としては、「神社行事の保存」「英語教育の育成」等となっています。



問2 団体の活動分野について該当するものを選択してください。

問2-2 その他の該当分野（複数選択可）

その他の該当分野は、「まちづくりの推進」が36.4%と最も高く、次いで「子どもの健全育成」が31.2%、「社会教育の推進」が24.7%、「学術、文化、芸術又はスポーツ」が19.5%と続いています。

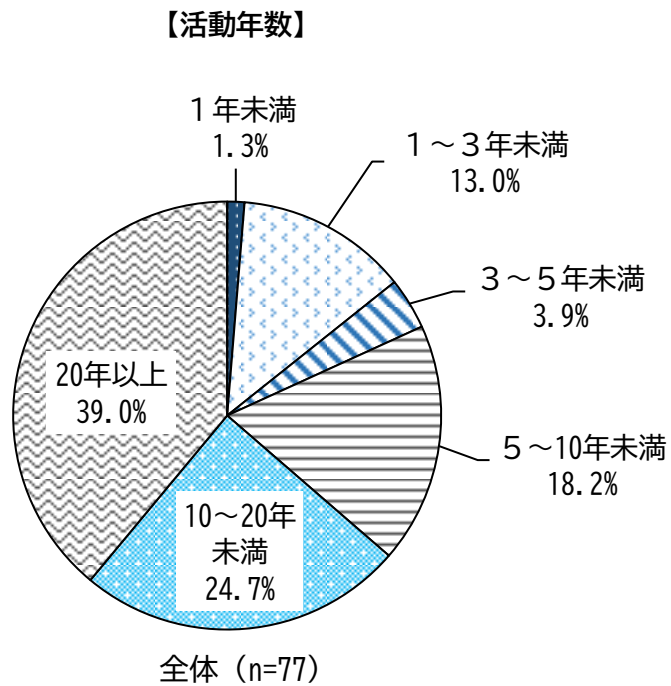




## Ⅱ 調査結果

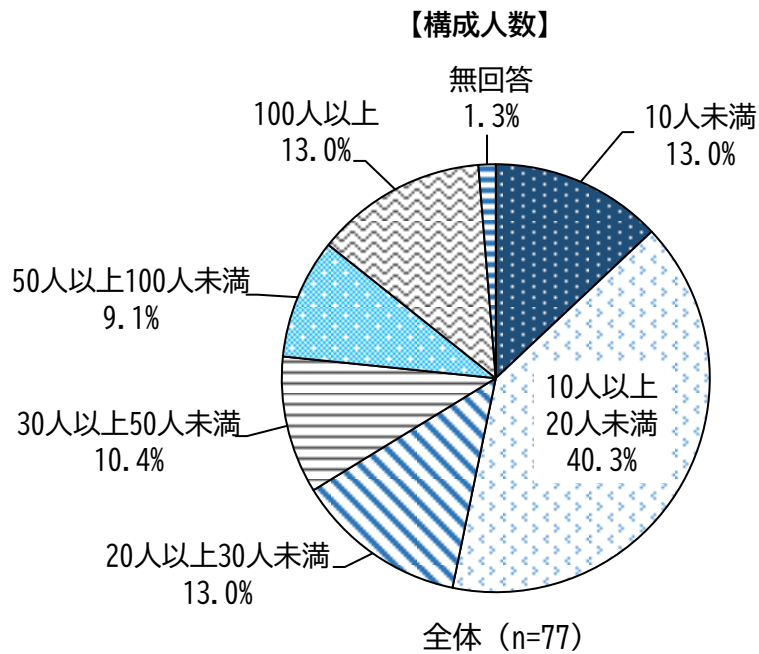
問3 活動年数について該当するものを選択してください。(○は1つ)

活動年数は、「20年以上」が39.0%と最も高く、次いで「10～20年未満」が24.7%、「5～10年未満」が18.2%、「1～3年未満」が13.0%と続いています。



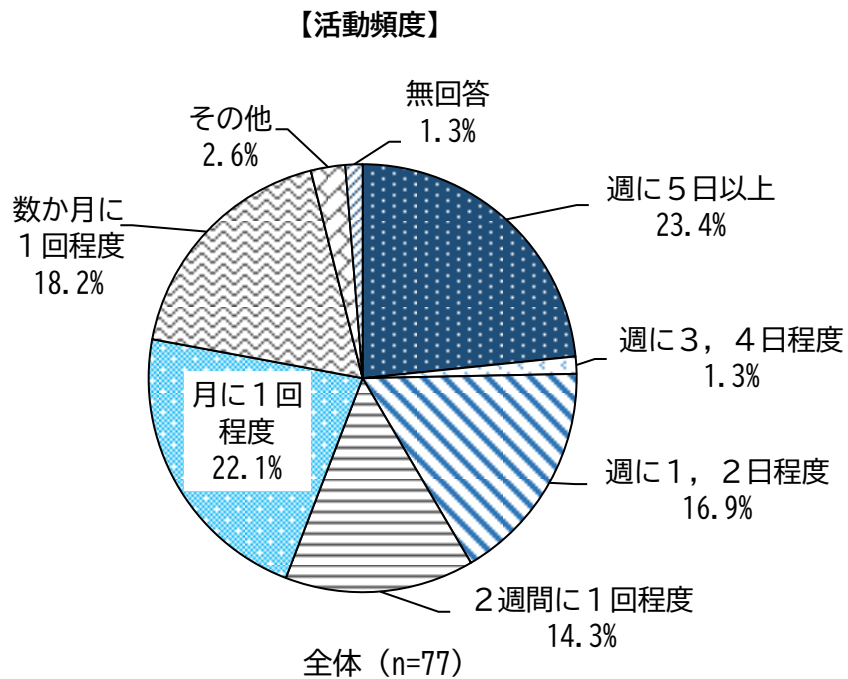
問4 貴団体の構成人数について該当するものを選択してください。(○は1つ)

構成人数は、「10人以上20人未満」が40.3%と最も高く、次いで「10人未満」、「20人以上30人未満」、「100人以上」が13.0%と続いています。



問5 貴団体の活動頻度について該当するものを選択してください。(○は1つ)

活動頻度は、「週に5日以上」が23.4%と最も高く、次いで「月に1回程度」が22.1%、「数か月に1回程度」が18.2%、「週に1, 2日程度」が16.9%と続いています。

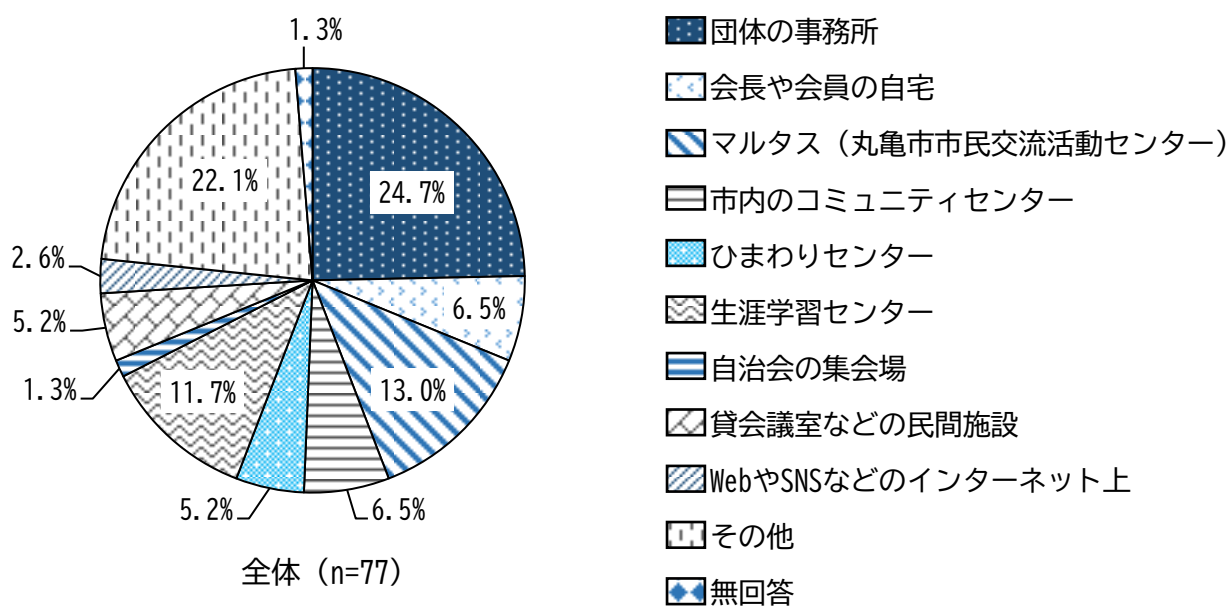


問6 貴団体が主に活動する施設や場所について該当するものを選択してください。(○は1つ)

主に活動する施設や場所は、「団体の事務所」が24.7%と最も高く、次いで「マルタス（丸亀市市民交流活動センター）」が13.0%、「生涯学習センター」が11.7%、「会長や会員の自宅」、「市内のコミュニティセンター」が6.5%と続いています。

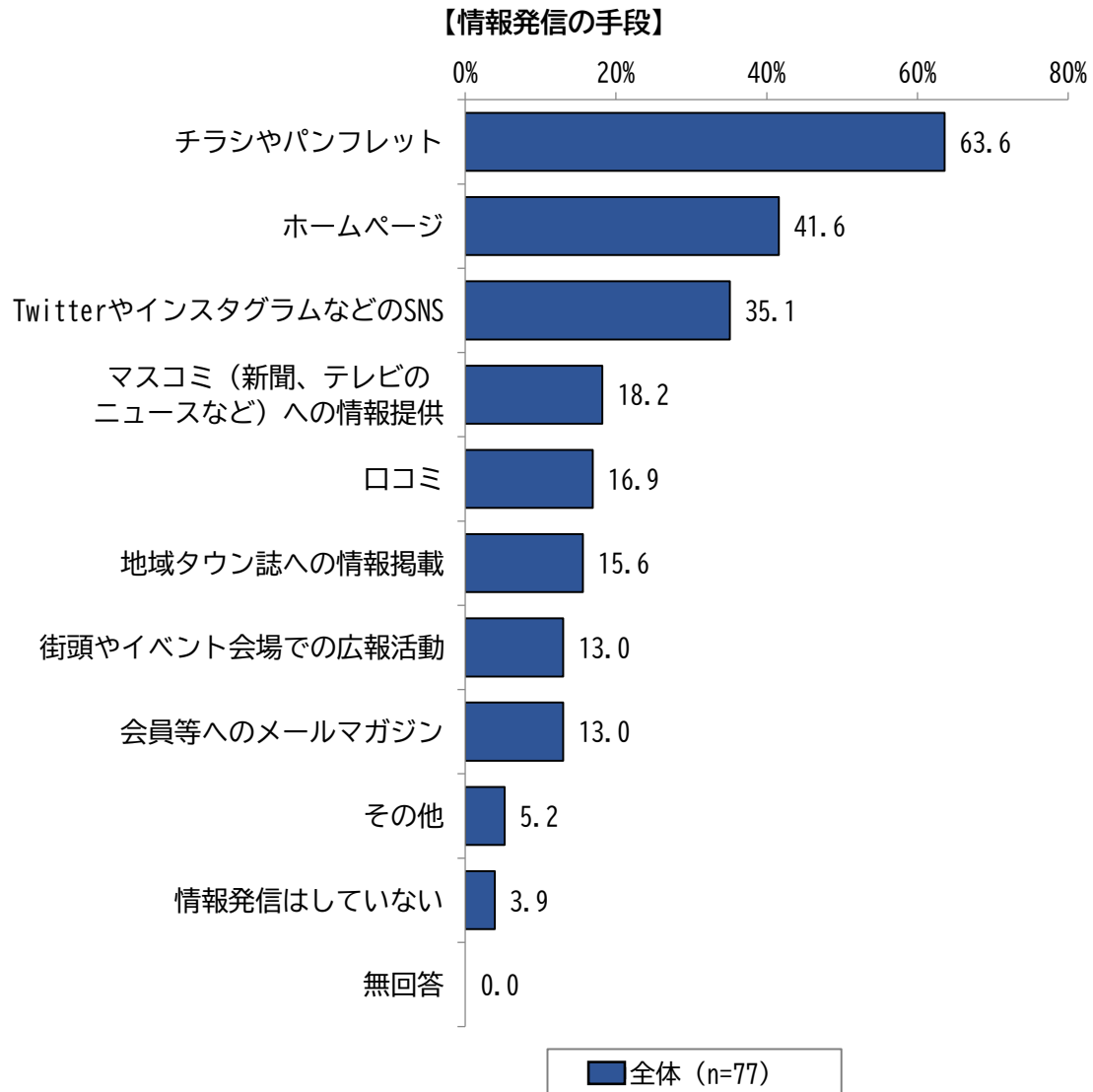
また、「その他」の具体的な内容としては、丸亀市内の学校や公共施設の回答が多くなっています。

【主に活動する施設や場所】



問7 貴団体はどのような手段で情報発信をしていますか。(複数選択可)

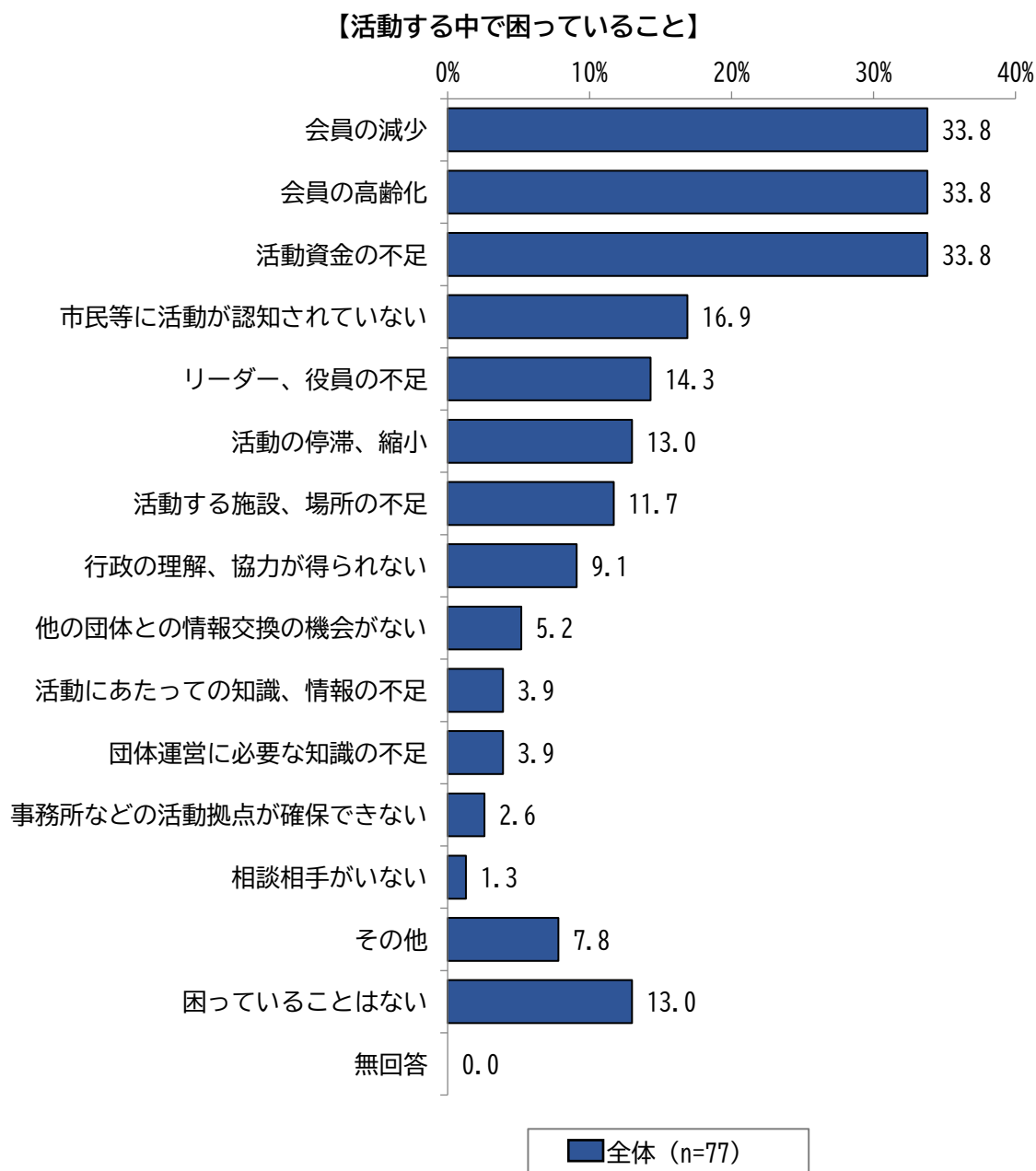
情報発信の手段は、「チラシやパンフレット」が63.6%と最も高く、次いで「ホームページ」が41.6%、「TwitterやインスタグラムなどのSNS」が35.1%、「マスコミ（新聞、テレビのニュースなど）への情報提供」が18.2%と続いています。



問8 活動する中で困っていることは何ですか。(複数選択可)

活動する中で困っていることは、「会員の減少」、「会員の高齢化」、「活動資金の不足」が33.8%と最も高く、次いで「市民等に活動が認知されていない」が16.9%と続いています。

また、「その他」の具体的な内容としては、「新型コロナウイルス感染症の影響」「人員の不足」等となっています。

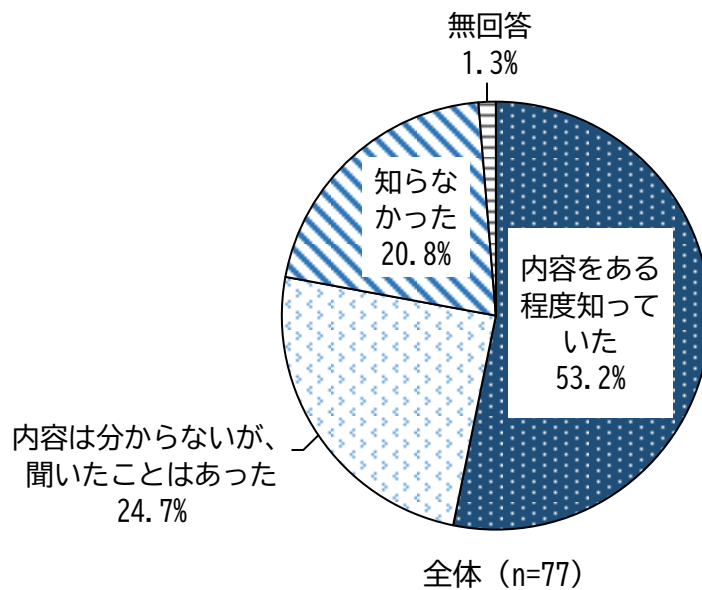


## 2 市との協働について

問9 あなたは、このアンケートに回答する以前から「協働」という言葉を知っていましたか。  
(〇は1つ)

以前から「協働」という言葉を知っていたかについては、「内容をある程度知っていた」が53.2%と最も高く、次いで「内容は分からないが、聞いたことはあった」が24.7%、「知らなかった」が20.8%となっています。

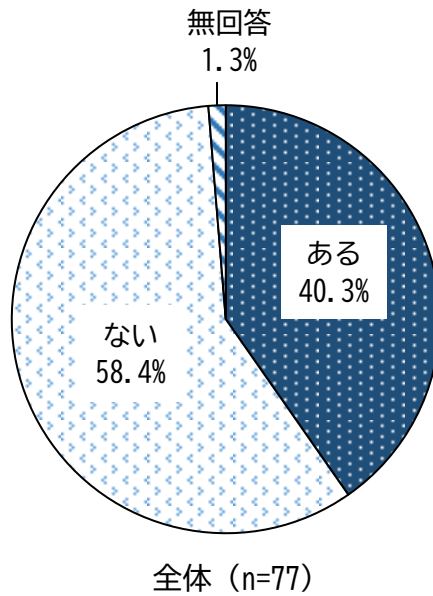
【以前から「協働」という言葉を知っていたか】



問 10 市と協働して事業を行ったことがありますか（○は1つ）

市と協働して事業を行ったことがあるかについては、「ある」が 40.3%、「ない」が 58.4%となっています。

【市と協働して事業を行ったことがあるか】





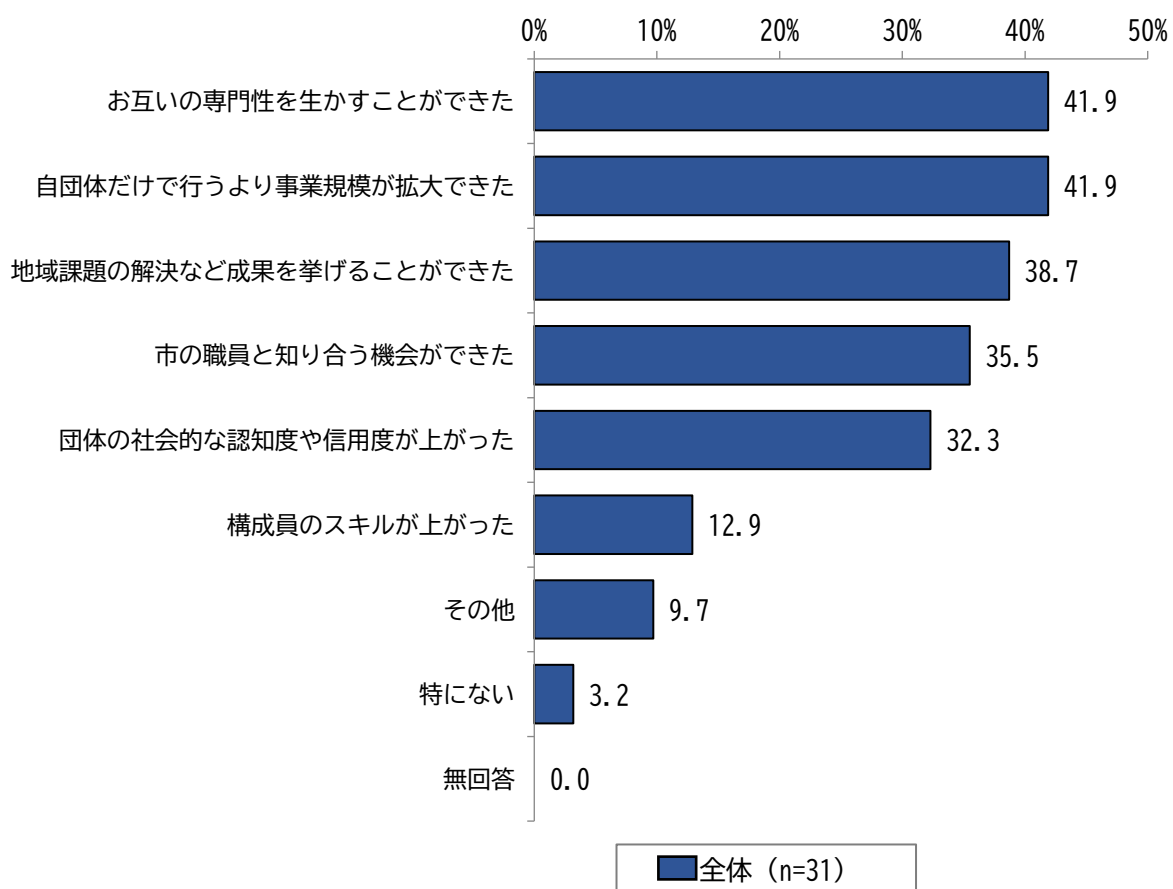
【問10で「ある」を選択した方にお聞きします。】

問11 市と協働して良かった点は何ですか。（複数選択可）

市と協働して良かった点については、「お互いの専門性を生かすことができた」、「自団体だけで行うより事業規模が拡大できた」が41.9%と最も高く、次いで「地域課題の解決など成果を挙げることができた」が38.7%、「市の職員と知り合う機会ができた」が35.5%と続いています。

また、「その他」の具体的な内容としては、「利用者の安心感につながる」等の回答となっています。

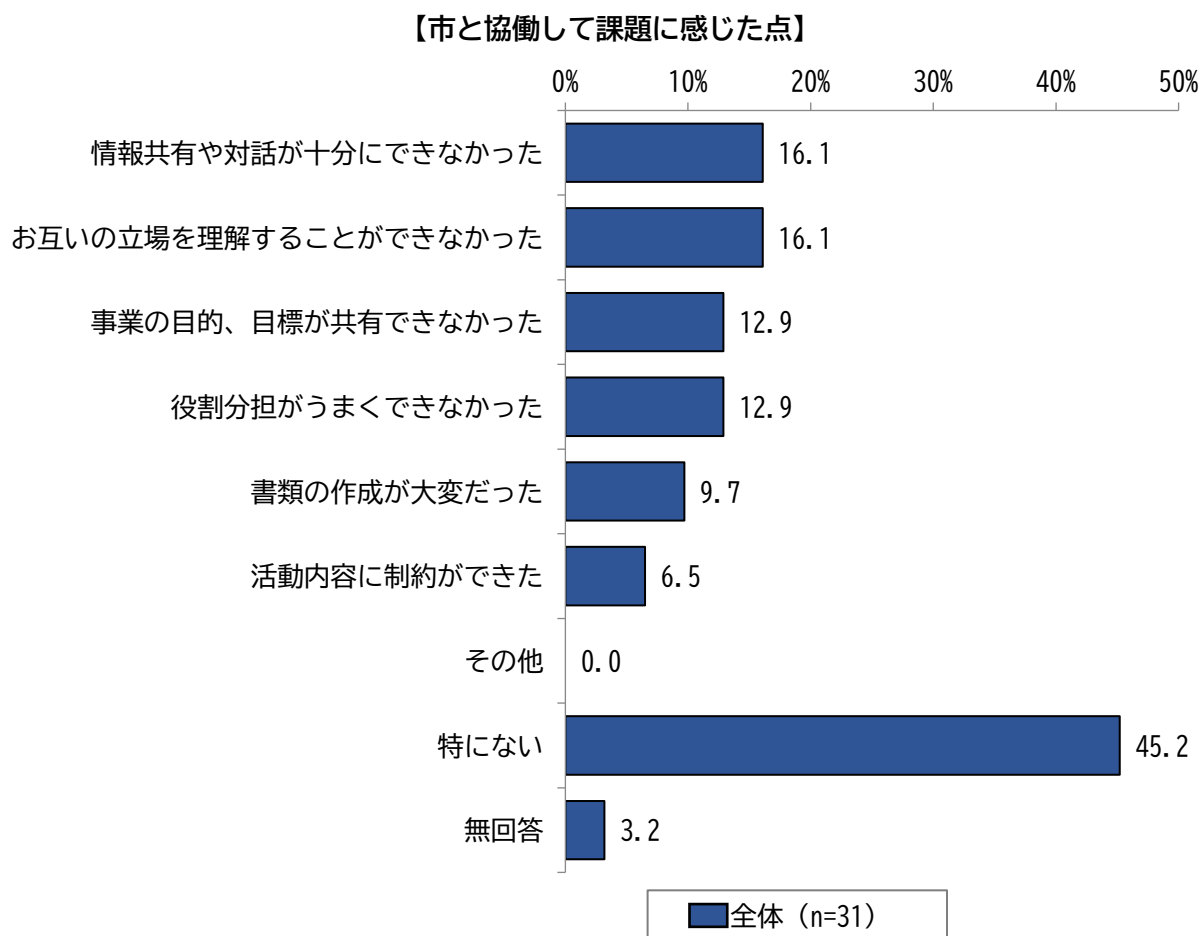
【市と協働して良かった点】



【問10で「ある」を選択した方にお聞きします。】

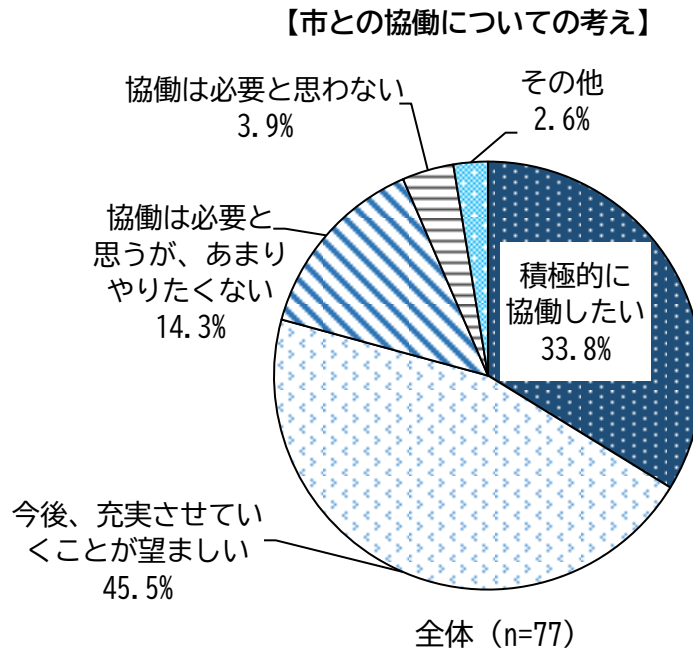
問12 市と協働して課題に感じた点は何ですか。(複数選択可)

市と協働して課題に感じた点については、「情報共有や対話が十分にできなかった」、「お互いの立場を理解することができなかった」が16.1%と最も高く、次いで「事業の目的、目標が共有できなかった」、「役割分担がうまくできなかった」が12.9%と続いています。また、「特にない」が45.2%と高くなっています。



問 13 市との協働についてどうお考えですか。(○は1つ)

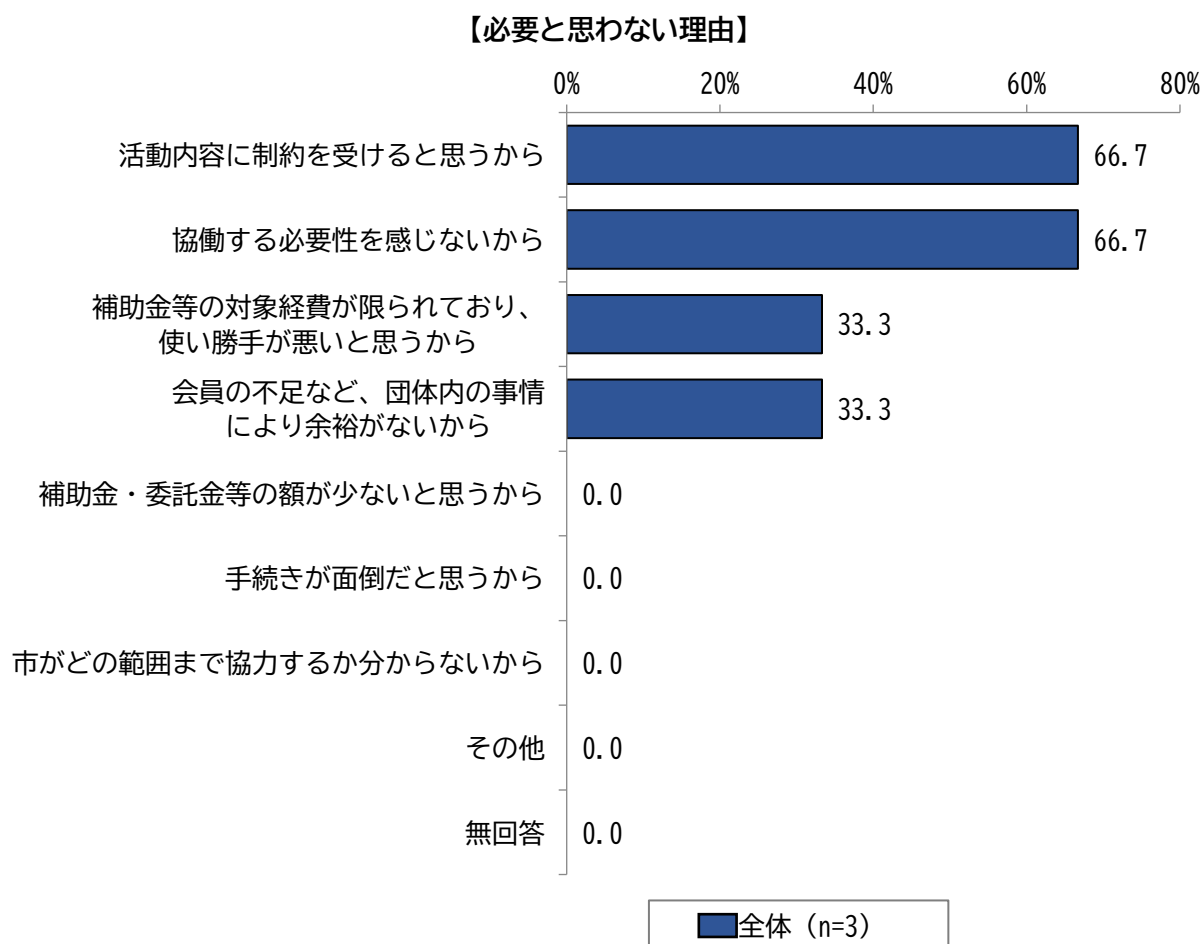
市との協働についての考えでは、「今後、充実させていくことが望ましい」が45.5%と最も高く、次いで「積極的に協働したい」が33.8%、「協働は必要と思うが、あまりやりたくない」が14.3%、「協働は必要と思わない」が3.9%となっています。



【問13で「協働は必要と思わない」を選択した方にお聞きします。】

問14 その理由は何ですか。(複数選択可)

必要と思わない理由については、「活動内容に制約を受けると思うから」、「協働する必要性を感じないから」が66.7%と最も高く、次いで「補助金等の対象経費が限られており、使い勝手が悪いと思うから」、「会員の不足など、団体内の事情により余裕がないから」が33.3%となっています。

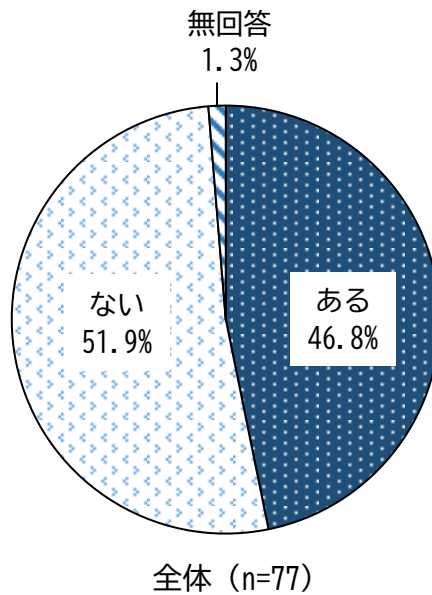


### 3 市以外の団体との協働について

問 15 市以外の団体等と協働で事業を行ったことはありますか。(〇は1つ)

市以外の団体との協働についての状況では、「ある」が46.8%、「ない」が51.9%となっています。

【市以外の団体との協働についての状況】



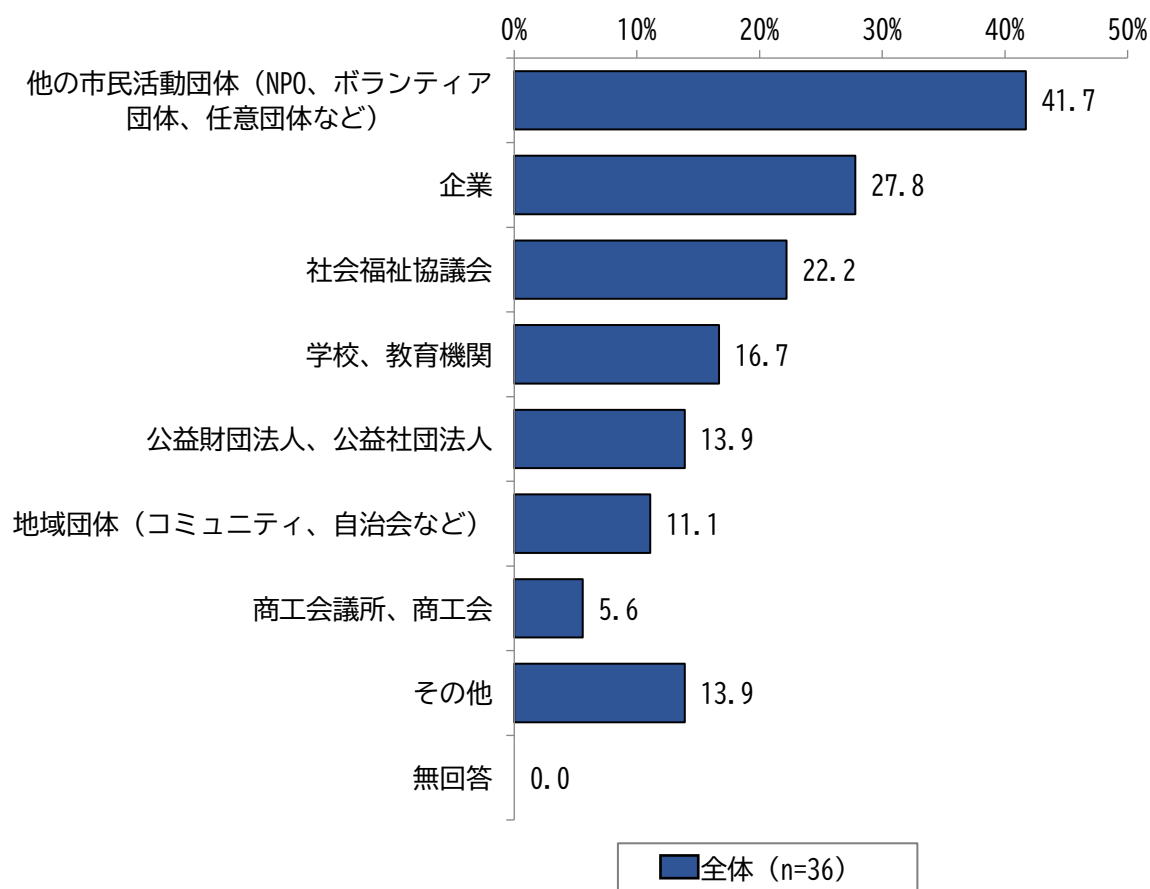
【問15で「ある」を選択した方にお聞きします。】

問16 どのような団体と事業を行いましたか。(複数選択可)

事業を行った団体については、「他の市民活動団体（NPO、ボランティア団体、任意団体など）」が41.7%と最も高く、次いで「企業」が27.8%、「社会福祉協議会」が22.2%、「学校、教育機関」が16.7%と続いています。

また、「その他」の具体的な内容としては、「県」の回答が多くなっています。

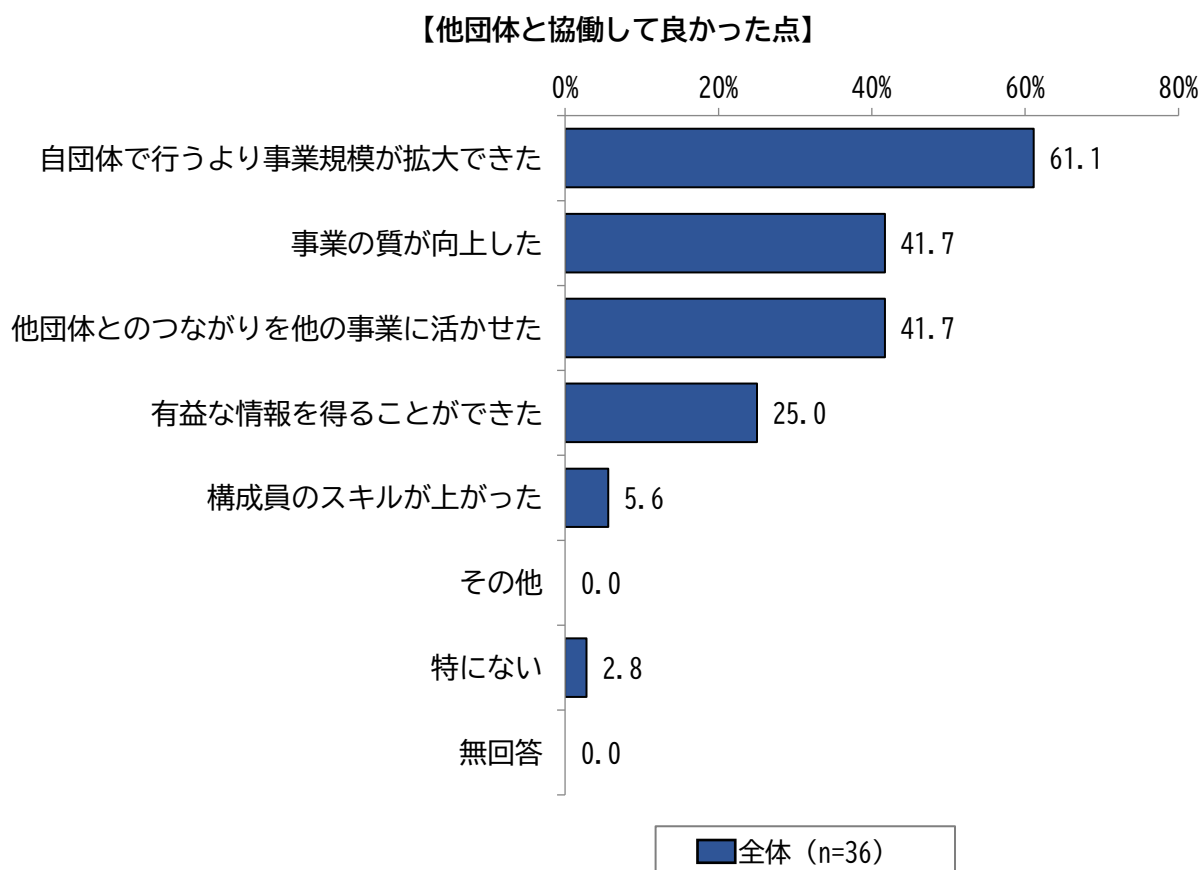
【事業を行った団体について】



【問 15 で「ある」を選択した方にお聞きします。】

問 17 他団体と協働して良かった点は何ですか。（複数選択可）

他団体と協働して良かった点については、「自団体で行うより事業規模が拡大できた」が 61.1%と最も高く、次いで「事業の質が向上した」、「他団体とのつながりを他の事業に活かした」が 41.7%、「有益な情報を得ることができた」が 25.0%と続いています。

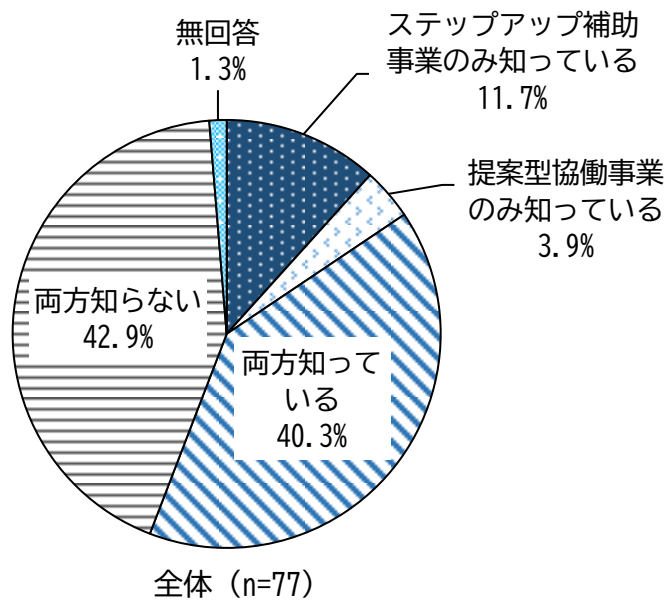


## 4 市の事業について

問 18 ステップアップ補助事業と提案型協働事業について知っていますか。(〇は1つ)

ステップアップ補助事業と提案型協働事業の認知状況については、「両方知らない」が42.9%と最も高く、次いで「両方知っている」が40.3%、「ステップアップ補助事業のみ知っている」が11.7%、「提案型協働事業のみ知っている」が3.9%となっています。

【ステップアップ補助事業と提案型協働事業の認知状況】



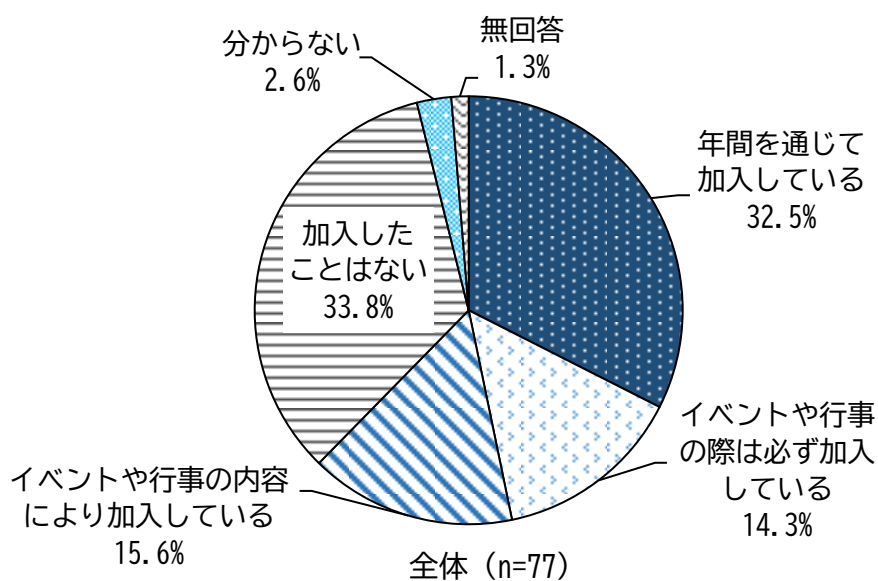


## 5 保険加入について

問 19 貴団体は活動に際して、何らかの保険に加入していますか。(○は1つ)

何らかの保険に加入しているかについては、「加入したことはない」が 33.8%と最も高く、次いで「年間を通じて加入している」が 32.5%、「イベントや行事の内容により加入している」が 15.6%、「イベントや行事の際は必ず加入している」が 14.3%、「分からない」が 2.6%となっています。

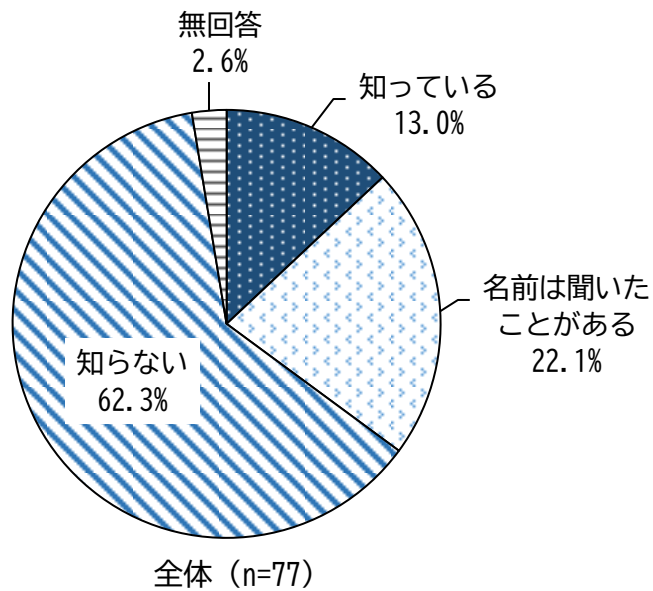
【何らかの保険に加入しているか】



問 20 市民活動保険制度について知っていますか。(○は1つ)

市民活動保険制度については、「知らない」が62.3%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」が22.1%、「知っている」が13.0%となっています。

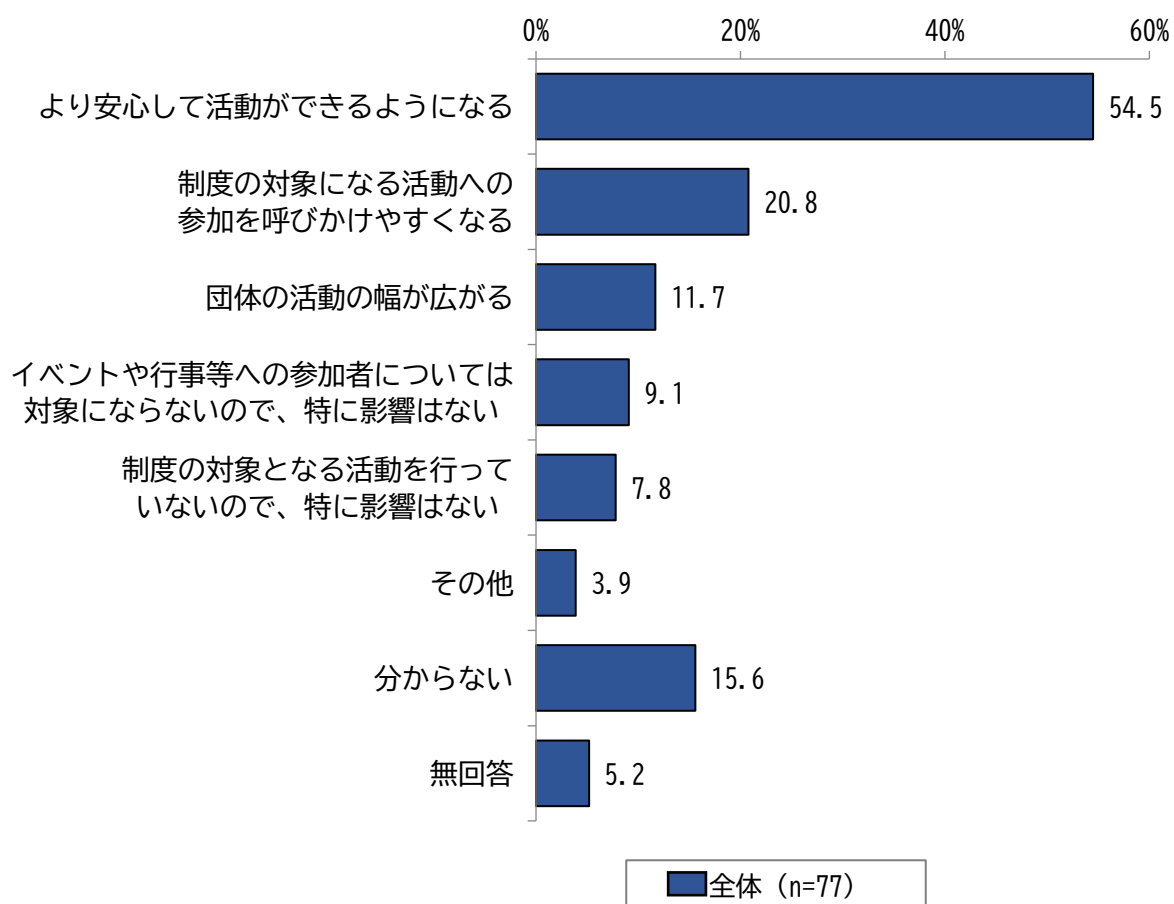
【市民活動保険制度について】



問 21 市が市民活動保険制度に加入した場合、どのような影響が考えられますか。  
 (複数選択可)

市が市民活動保険制度に加入した場合の影響については、「より安心して活動ができるようになる」が54.5%と最も高く、次いで「制度の対象になる活動への参加を呼びかけやすくなる」が20.8%、「団体の活動の幅が広がる」が11.7%、「イベントや行事等への参加者については対象にならないので、特に影響はない」が9.1%と続いています。

【市が市民活動保険制度に加入した場合の影響】

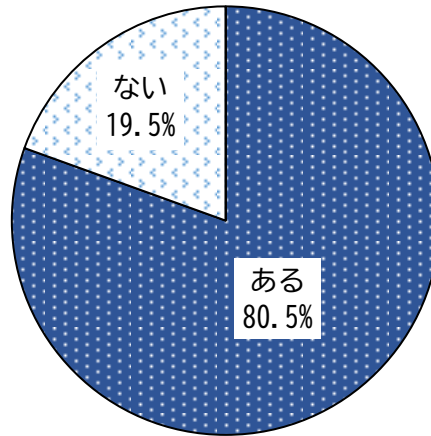


## 6 市民交流活動センター「マルタス」について

問 22 マルタスを利用したことがありますか。(○は1つ)

マルタスの利用状況については、「ある」が80.5%、「ない」が19.5%となっています。

【マルタスの利用状況】



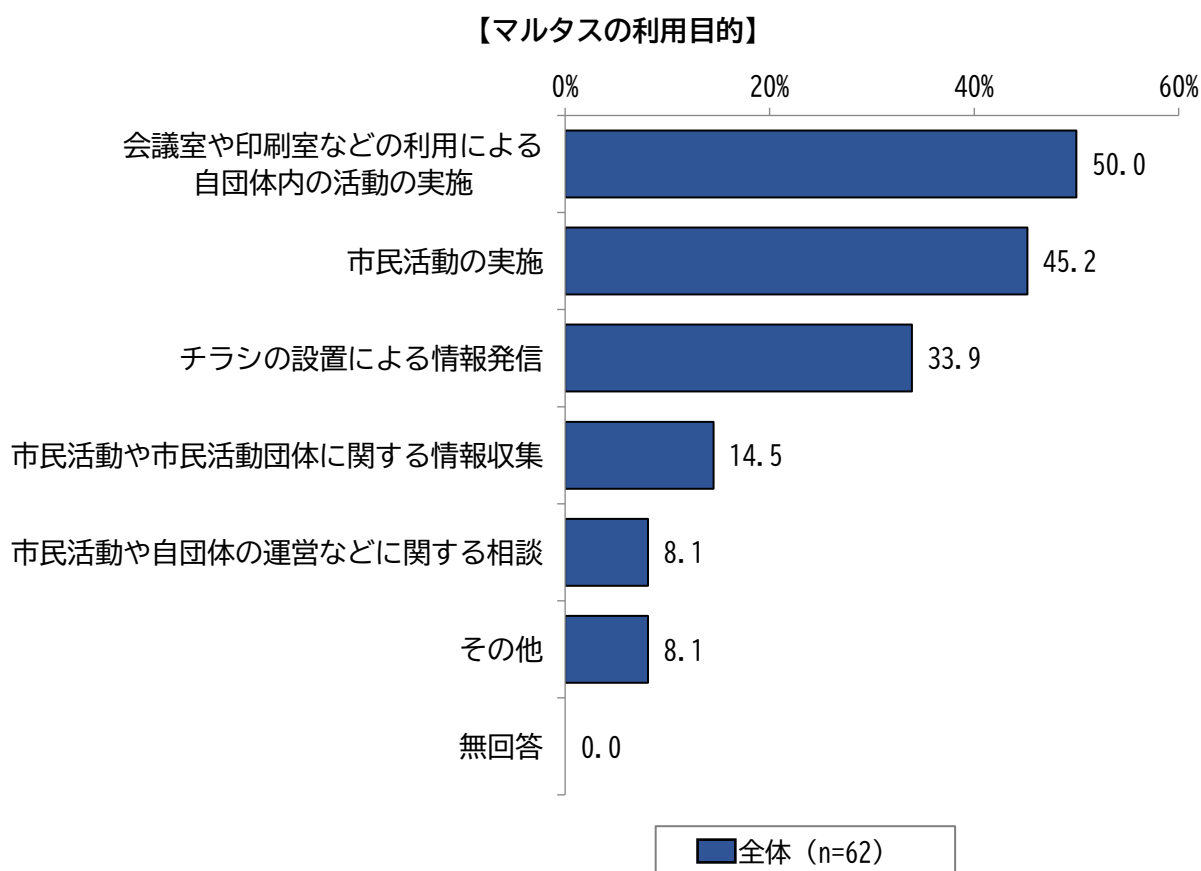
全体 (n=77)

【問 22 で「ある」を選択した方にお聞きします。】

問 23 どのような目的でマルタスを利用しましたか。(複数選択可)

マルタスの利用目的については、「会議室や印刷室などの利用による自団体内の活動の実施」が 50.0%と最も高く、次いで「市民活動の実施」が 45.2%、「チラシの設置による情報発信」が 33.9%、「市民活動や市民活動団体に関する情報収集」が 14.5%、「市民活動や自団体の運営などに関する相談」が 8.1%となっています。

また、「その他」の具体的な内容としては、「休憩や情報収集」「研究発表や授業での利用」となっています。

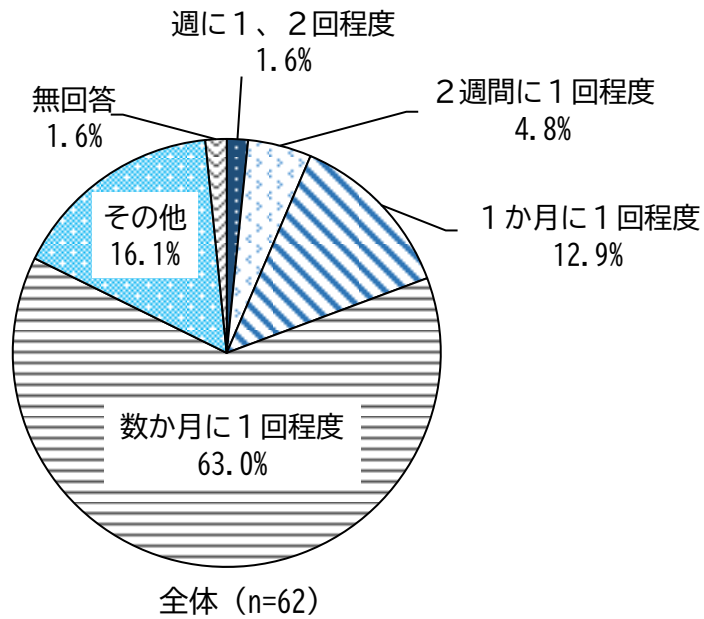


【問22で「ある」を選択した方にお聞きします。】

問24 マルタスの利用頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

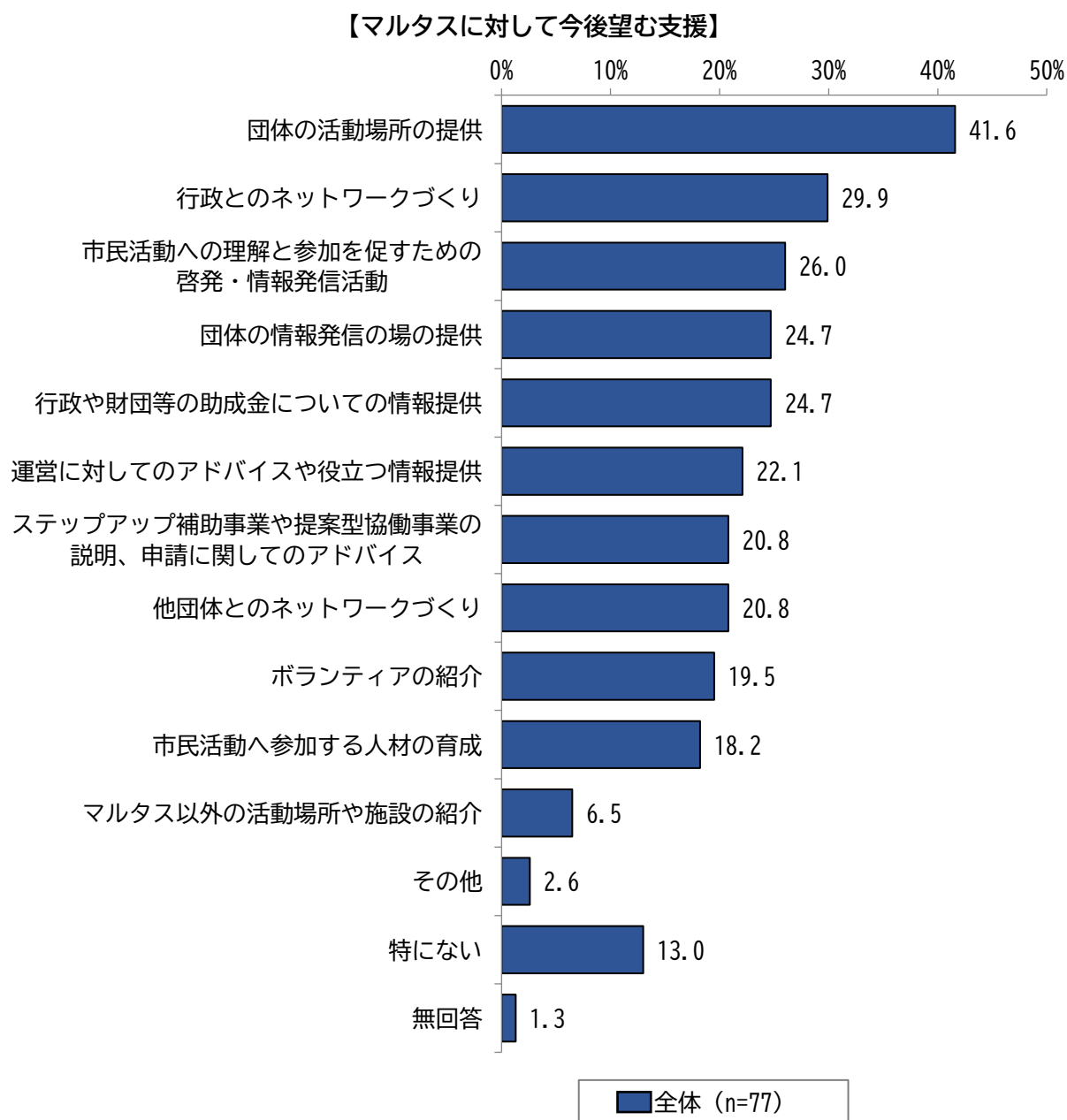
マルタスの利用頻度については、「数か月に1回程度」が63.0%と最も高く、次いで「1か月に1回程度」が12.9%、「2週間に1回程度」が4.8%、「週に1、2回程度」が1.6%となっています。また、「その他」の具体的な内容としては、「年に1回・数回」の回答が多くなっています。

【マルタスの利用頻度】



問 25 マルタスに対して今後望む支援は何ですか。(複数選択可)

マルタスに対して今後望む支援については、「団体の活動場所の提供」が41.6%と最も高く、次いで「行政とのネットワークづくり」が29.9%、「市民活動への理解と参加を促すための啓発・情報発信活動」が26.0%、「団体の情報発信の場の提供」、「行政や財団等の助成金についての情報提供」が24.7%と続いています。



## 7 自由意見

問 26 今までお伺いしたことの他に「協働のまちづくり」についてご意見などがございましたら記入してください

No.	問 2-1 活動分野	協働経験 の有無	内容
1	保健・医療・ 福祉	ない	商店街の淋しさは、小さい頃からよく知っている者として残念でなりません。市、社協、ボランティア団体の行事を商店街等で合同で出来るようなことがあればもっと賑やかに、また人が来るような所になるのではいつも思っています。丸亀の残念な所は商店街に人が来ない所だと思います。
2	社会教育	ある	丸亀市の人口を増やすためには、生活している人達の幸せな状態の発信が必要だと思う。土地の安さを活かし（空き家のリノベーションでも可）広い家、広い庭、ゆったりした生活のモデルを作り、それを実際に近づけ、発信してはいかが？行政がそのプロデュースをします。御一考下さい。
3	まちづくり	ない	地元企業で働いている社会人1年～3年目の若い方が、行政や市民団体と共に地域の課題解決に取り組み、実社会で活かせることが出来るスキル習得の制度を創設して欲しい（社会人大学のような制度）。
4	まちづくり	ない	体力のある団体でないと協働はなかなか出来ないと思う。ボランティア達で細々とやっている団体にとっては、自由に使える助成金を支援してくれているのがありがたい。これも協働！？
5	農山漁村 振興	ない	会員が丸亀市以外の方が多いので、市外が補助事業に協力的でない。
6	学術・文化・芸 術・スポーツ	ある	行政職員の協働への認識が不足していると思います。行政評価が不十分であることが課題認識を低下させ、目的を見失ってしまっているように感じています。課題解決の実現には目的の共有が前提だと思います。目的を共有し、解決の手法と役割が明確になることで協働が有効になるのではないのでしょうか。
7	学術・文化・芸 術・スポーツ	ある	これから様々な事で早くから情報発信をしてもらいたいと思います。案外情報を直前まで知らなかった事が多いです。
8	学術・文化・芸 術・スポーツ	ある	市民活動の事業等の説明、情報提供等を土・日以外の曜日の17時以降にもお願いしたい。
9	学術・文化・芸 術・スポーツ	ない	現在コミュニティーセンターを使用の際に空調代を取られているが、無料には出来ないのか？綾歌町時代は無料であった。解答をお願いしたいが無理だろうな。
10	学術・文化・芸 術・スポーツ	ない	役所関係のOB等との関係団体以外でも協働させて欲しい。以前応募した時に却下された。役所関係者のマネロン状態。



Ⅱ 調査結果

No.	問2-1 活動分野	協働経験 の有無	内容
11	学術・文化・芸術・スポーツ	ない	遠方であっても利用、参加しやすい方策の検討をお願いしたい。
12	子どもの健全育成	ある	今まで取り組んできた沢山の事が、空論に終わっている事が多いと感じています。協働とは？まちづくりとは？そこから学び合い考え合って実のあるものにしていければ良いと思います。行政もお金を出すだけでなく、「協働」の立ち位置で一緒に関わって合っているパートナーであって欲しいと思います。※マルタスの登録の手続きが大変だという方もおられました。
13	子どもの健全育成	ある	市が最初から考えてボランティアに対して原点に戻って欲しい。
14	子どもの健全育成	ある	行政と団体とで密なコミュニケーションが取れる環境や関係作りが必要ではないかと思います。
15	子どもの健全育成	ある	マルタス登録更新書類について、もう少し簡素にしてほしい。団体の事業報告は様式を決めず、団体が総会用に作成するもので可としてほしい。
16	子どもの健全育成	ある	丸亀市の中で、委託事業と協働事業に違いはあるのか。その議論と整理は大事だと思う。丸亀市の協働事業において、有識者による第三者委員会的なものはあるのか。無いのであれば必要だと思う。
17	子どもの健全育成	ない	いつもありがとうございます。現状ではこれ以上は動くことは出来ません。もう少し会員数が増えてから考えたいと思います。
18	子どもの健全育成	ない	前年度より、丸亀市に拠点を置くようになりました。市が色々活気的に取り組もうとしているのが感じられます。ですが、分かりにくい。もっとよく分かるようになればと思います。入り口は簡単に分かるようにして、それならと入ると詳しく説明していくのはどうでしょう。何も分からない者の独り言として頂いて大丈夫です。
19	子どもの健全育成	ない	多くの団体や人が交流活動することで、大きな成果が期待できると考える。
20	科学技術振興	ある	行政課題は市民と行政が当事者であり、その解決に協働は欠かせないものです。現状、協働が出来ているようには感じられません。先ずはその理由を明確にすることが必要ではないでしょうか。
21	その他	ある	「丸亀護国神社奉賛会」発足から5年が経過しました。この間、コロナ騒ぎもあって活動が充分に出来ないこともありました。奉賛会の活動、寄付金、会員の拡大に努力して参りましたが、なかなか成果を上げることができませんでした。しかしながら、協力してくれるボランティア団体の参加を契機に、市民へのアピールも拡大しつつあります。我々の「市民活動」を今後とも援助して頂けるよう希望します。
22	その他	ない	TNR 活動について。丸亀市には助成金制度がなく、多市町に比べて遅れていると思います。

## 8 総評

### ◎ 「協働」の言葉の認知度は半数以上ですが、市との協働経験は4割程度となっています ◎

以前から「協働」という言葉を知っていたかについては、「内容をある程度知っていた」が53.2%と半数以上を占め、「内容は分からないが、聞いたことはあった(24.7%)」と合わせると、言葉の認知度は8割近くとなっています。

一方で、市と協働して事業を行ったことがあるかについては、「ある」が40.3%となっており、「協働」の認知度に比べると低い割合となっています。

### ◎ 市と協働した団体の多くがメリットを感じています ◎

市と協働して良かった点について、「お互いの専門性を生かすことができた(41.9%)」、「自団体だけで行うより事業規模が拡大できた(41.9%)」、「地域課題の解決など成果を挙げることができた(38.7%)」等の回答が多く、反対に「特にない」は3.2%にとどまっており、協働した団体の多くがメリットを感じていると考えられます。

一方、市と協働して課題に感じた点は、「特にない」が45.2%と高くなっていますが、「情報共有や対話が十分にできなかった(16.1%)」、「お互いの立場を理解することができなかった(16.1%)」といったコミュニケーション不足が要因と考えられる課題も挙げられています。協働経験のある団体の声等も活用して協働のメリットを発信すると同時に、協働した際のコミュニケーション不足という課題を改善していく必要があると考えられます。

また、市との協働についての考えは、「今後、充実させていくことが望ましい」が45.5%と最も高く、「積極的に協働したい(33.8%)」と合わせると、約8割の団体が市との協働に前向きな考えを持っていることがわかります。「協働は必要と思わない」と回答した団体は3団体のみでしたが、その理由として「活動内容に制約を受けると思うから」、「補助金等の対象経費が限られており、使い勝手が悪いと思うから」等が挙げられており、市との協働に前向きな団体に働きかけると同時に、協働する際に団体の活動や考えを妨げるというイメージを払拭していく必要があると考えられます。

### ◎ 約8割の団体が、マルタスの利用経験ありと回答しています ◎

マルタスの利用状況について、「ある」が80.5%となっており、その利用目的としては、「会議室や印刷室などの利用による自団体内の活動の実施(50.0%)」、「市民活動の実施(45.2%)」等が多くなっており、活動の場としての利用が多いと考えられます。

また、マルタスに対して今後望む支援としても「団体の活動場所の提供(41.6%)」が最も高くなっていますが、次いで「行政とのネットワークづくり(29.9%)」、「市民活動への理解と参加を促すための啓発・情報発信活動(26.0%)」と続いており、活動場所の確保という現在の利用目的を維持しつつ、市との協働や、マルタス利用者に対する市民活動への理解促進の機会づくりが期待されると考えられます。

# Ⅲ アンケート調査票

## 丸亀市 協働のまちづくりに関する市民活動団体アンケート

□ ご協力をお願い □

日ごろより、市民活動団体のみなさまには市政にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
本市では、協働のまちづくりを推進するため、新たな取組の指針となる「第2次丸亀市協働推進計画（仮称）」を令和5年度に策定いたします。

このたび、市民活動団体のみなさまに協働のまちづくりに関する現状や考えをお聞きし、新しい計画策定の資料とするため、本調査を実施することいたしました。

回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年5月 丸亀市長 松永恭二

【回答方法】※次のいずれかの方法で回答してください。

① インターネット回答

- スマートフォン、タブレット、パソコンで下記へアクセスして回答してください。

<https://rsch.jp/3b0bfd307e9627af/login.php>

- インターネット回答をされた場合、この調査票への記入及び返送は必要ありません。

② 調査票（この冊子）による回答

- 問いの指示に従って調査票に直接ご記入ください。
- ご記入は、鉛筆、ボールペン、万年筆のいずれでも結構です。
- 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、郵便ポストへご投函ください。




スマートフォンからは、上記 QR コードを読み取って回答ページにアクセスできます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

【回答にあたってのお願い】

- 調査票には、団体の代表の方もしくは、事業全体がお分かりになる方がご記入ください。回答内容については、団体等の総意ではなく、個人のご意見でも構いません。
- 設問によって、回答が「○は1つ」と限定されている場合がありますので、記載内容に従って、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答は、令和5年（2023年）4月1日を基準としてご記入ください。
- 令和5年（2023年）5月31日（水）までに回答（インターネット回答または調査票を投函）してください。

※返信用封筒の表面左側にあるバーコード「」は、料金受取人払のために郵便局が使用するものであり、個人を特定するためのものではありません。

調査に関する問い合わせ先

丸亀市 市民生活部 生涯学習課 市民協働担当  
TEL：0877-35-7628 FAX：0877-25-2409  
E-mail：shogai-k@city.marugme.lg.jp







問 13. 市との協働についてどうお考えですか。(○は1つ)

- ① 積極的に協働したい
- ② 今後、充実させていくことが望ましい
- ③ 協働は必要と思うが、あまりやりたくない
- ④ 協働は必要と思わない →問 14 へ
- ⑤ その他 ( ) →問 15 へ

問 14. 問 13 で「④協働は必要と思わない」を選択した方にお聞きます。その理由は何ですか。(複数選択可)

- ① 補助金・委託金等の額が少ないと思うから
- ② 補助金等の対象経費が限られており、使い勝手が悪いと思うから
- ③ 活動内容に制約を受けると思うから
- ④ 手続きが面倒だと思うから
- ⑤ 市がどの範囲まで協力するか分からないから
- ⑥ 会員の不足など、団体内の事情により余裕がないから
- ⑦ 協働する必要性を感じないから
- ⑧ その他 ( )

**【市以外の団体との協働について】**

問 15. 市以外の団体等と協働で事業を行ったことはありますか。(○は1つ)

- ① ある →問 16 へ
- ② ない →問 18 へ

問 16. 問 15 で「①ある」を選択した方にお聞きます。どのような団体と事業を行いましたか。(複数選択可)

- ① 企業
- ② 他の市民活動団体 (NPO、ボランティア団体、任意団体など)
- ③ 社会福祉協議会
- ④ 学校、教育機関
- ⑤ 公益財団法人、公益社団法人
- ⑥ 地域団体 (コミュニティ、自治会など)
- ⑦ 商工会議所、商工会
- ⑧ その他 ( )

問 17. 問 15 で「①ある」を選択した方にお聞きます。他団体と協働して良かった点は何ですか。(複数選択可)

- ① 有益な情報を得ることができた
- ② 事業の質が向上した
- ③ 自団体で行うより事業規模が拡大できた
- ④ 構成員のスキルが上がった
- ⑤ 他団体とのつながりを他の事業に活かせた
- ⑥ その他 ( )
- ⑦ 特にない

**【市の事業について】**

本市では、市民活動や、市民活動団体と市との協働を推進するため、ステップアップ補助事業と提案型協働事業を実施しています。

**○ステップアップ補助事業とは**

新たな市民活動や、その活動の幅を広げる事業などに要する経費の一部を補助することにより、市民の自主的・自発的な活動を支援し、市民の公益の増進に資する多彩な活動の展開、活性化を図ることを目的とした事業です。

**○提案型協働事業とは**

市と市民活動団体、事業者等の団体が協働で実施する事業で、団体側が課題と考えるテーマについて事業企画を募集する「団体提案型」と、市から示した課題テーマに対応する施策を団体側が提案する「市提案型」の 2 種類があります。各々が単独で事業を実施するよりもその効果を高め、市民の満足度の向上につなげることで、質の高い公共サービスを提供することを目的とした事業です。

問 18. ステップアップ補助事業と提案型協働事業について知っていますか。(○は 1 つ)

- ① ステップアップ補助事業のみ知っている
- ② 提案型協働事業のみ知っている
- ③ 両方知っている
- ④ 両方知らない

**【保険加入について】**

問 19. 貴団体は活動に際して、何らかの保険に加入していますか。(○は 1 つ)

- ① 年間を通じて加入している
- ② イベントや行事の際は必ず加入している
- ③ イベントや行事の内容により加入している
- ④ 加入したことはない
- ⑤ 分からない



問 20 からは市民活動保険制度についてお聞きします。

**市民活動保険制度とは**

市民や市民活動団体等が安心して地域活動やボランティア活動を行えるよう、丸亀市が保険料を負担し、あらかじめ保険会社と契約するもので、個々の団体による事前の加入や登録は必要なく、公益性のある活動中に、思わぬケガや事故が起きてしまった場合は、一定条件の下に保険金が支払われる制度です。(社会福祉協議会が取り扱っているボランティア活動保険とは別の制度です)

丸亀市には現在この制度はありません。以下の説明は、他市町の例になります。

◇対象者◇

- ・市内に活動の拠点を置き、活動を行っている市民活動団体及び指導者
- ・市内に活動の拠点を置き、活動を行っている市民活動団体の運営スタッフ、活動従事者等

※イベントや行事等の参加者は対象外です。

◇対象となる活動◇

- ・自主的に構成された団体や地域住民組織などが行っている活動であること
- ・広く公共の利益を目的とした自主的・自発的な活動であること
- ・年間計画に基づいて実施されているものや役員会などで決定して行われる計画的な活動であること
- ・無報酬で行われている活動であること
- ・政治、宗教や営利を目的としない活動であること
- ・自助的な活動や懇親を目的としない活動であること
- ・職場などの行事として行う活動でないこと
- ・学校等の管理下の児童生徒の活動でないこと など

◇対象となるよくある事故の事例◇

- ・地域の防犯パトロールや公園の清掃中に段差につまずいて転んだ
- ・草刈り機で草刈り中に、小石をはねて他人にケガを負わせた／近くの車のガラスを割った

問 20. 説明のような市民活動保険制度について知っていますか。(○は1つ)

- ① 知っている          ② 名前は聞いたことがある          ③ 知らない

問 21. 市が市民活動保険制度に加入した場合、どのような影響が考えられますか。

(複数選択可)

- ① 制度の対象になる活動への参加を呼びかけやすくなる  
② 団体の活動の幅が広がる  
③ より安心して活動ができるようになる  
④ イベントや行事等への参加者については対象にならないので、特に影響はない  
⑤ 制度の対象となる活動を行っていないので、特に影響はない  
⑥ その他 ( )  
⑦ 分からない

**【市民交流活動センター「マルタス」について】**

問 22. マルタスを利用したことがありますか。(○は1つ)

- ① ある →問 23 へ      ② ない →問 25 へ

問 23. 問 22 で「①ある」を選択した方にお聞きします。どのような目的でマルタスを利用しましたか。(複数選択可)

- ① 市民活動や市民活動団体に関する情報収集  
② チラシの設置による情報発信  
③ 市民活動の実施  
④ 会議室や印刷室などの利用による自団体内の活動の実施  
⑤ 市民活動や自団体の運営などに関する相談  
⑥ その他 ( )

問 24. 問 22 で「①ある」を選択した方にお聞きします。マルタスの利用頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- ① 週に1、2回程度          ② 2週間に1回程度          ③ 1か月に1回程度  
④ 数か月に1回程度          ⑤ その他 ( )

問 25. マルタスに対して今後望む支援は何ですか。(複数選択可)

- ① 市民活動への理解と参加を促すための啓発・情報発信活動
- ② 市民活動へ参加する人材の育成
- ③ ステップアップ補助事業や提案型協働事業の説明、申請に関するアドバイス
- ④ 運営に対するアドバイスや役立つ情報提供
- ⑤ 他団体とのネットワークづくり
- ⑥ 行政とのネットワークづくり
- ⑦ ボランティアの紹介
- ⑧ 団体の活動場所の提供
- ⑨ 団体の情報発信の場の提供
- ⑩ 行政や財団等の助成金についての情報提供
- ⑪ マルタス以外の活動場所や施設の紹介
- ⑫ その他 ( )
- ⑬ 特にない

**【自由意見】**

問 26. 今までお伺いしたこと他に「協働のまちづくり」についてご意見などがございましたら記入してください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

以上で質問は終わりです。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。